

石井真美, 福島裕子, 奥野高裕, 井上 健
(大阪市立総合医療センター 病理部)

【症例】 50 歳代、女性

【主訴】 特記すべきことなし

【現病歴】

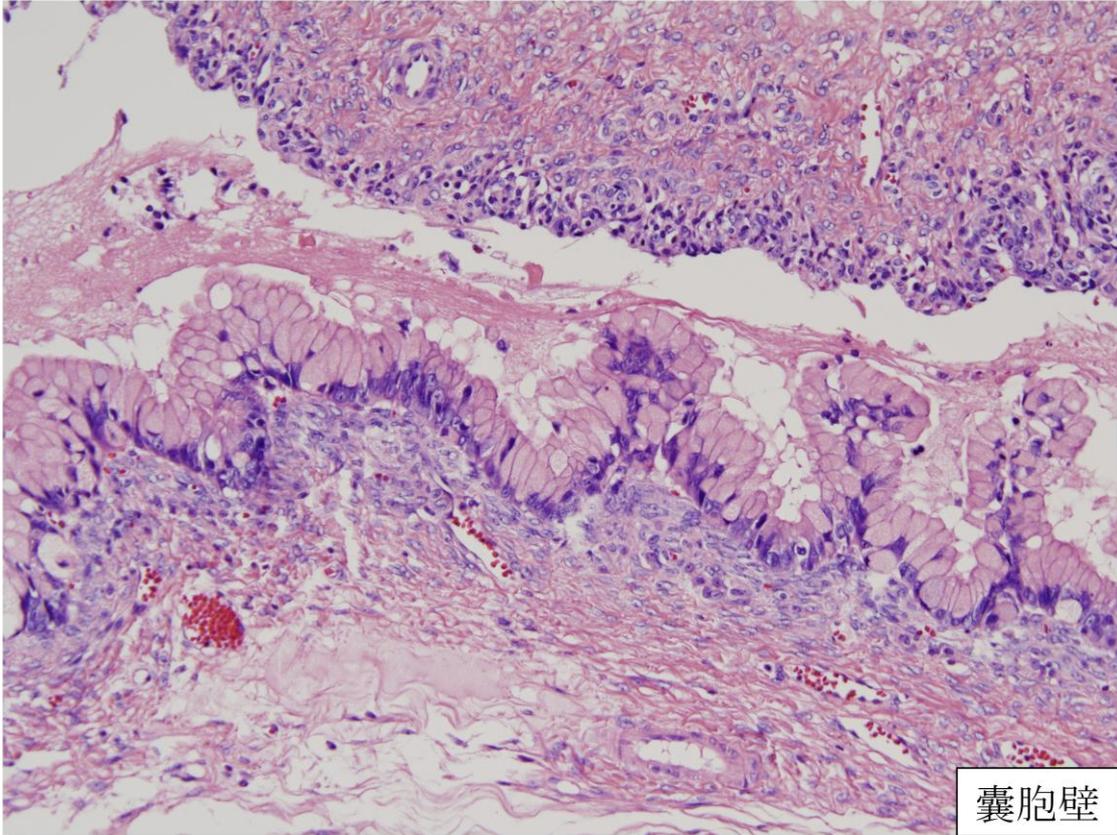
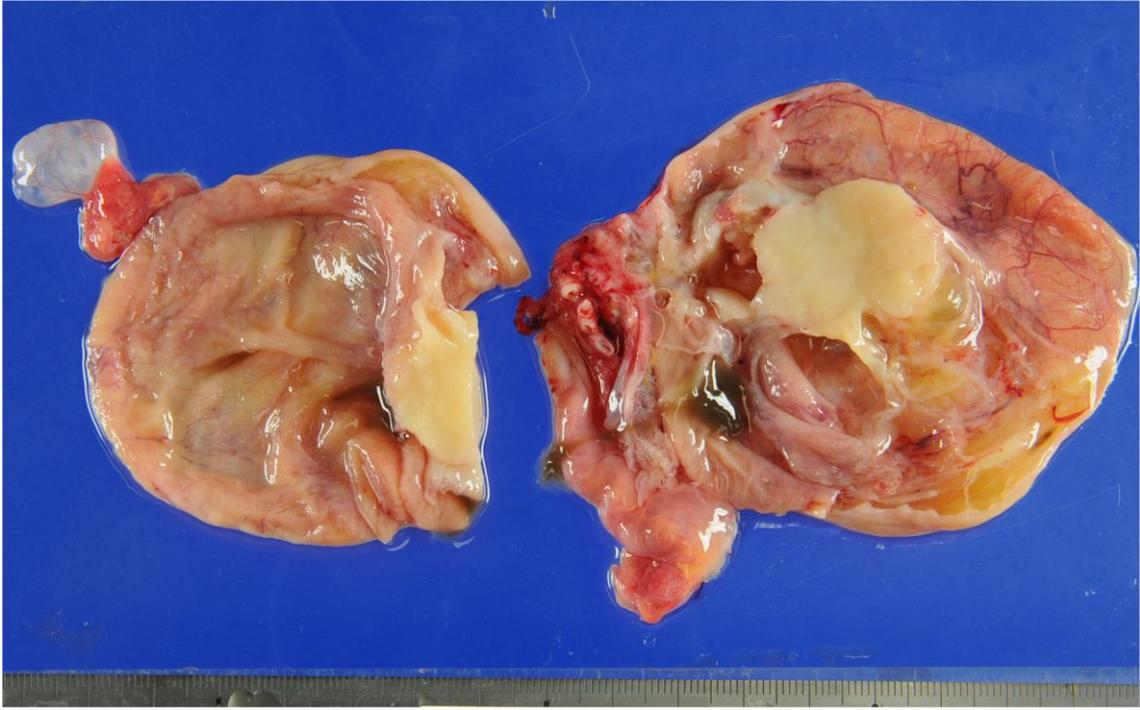
4 年前より子宮頸部嚢胞にて当院を受診していたが、フォローアップの超音波検査で右卵巣腫大があり、MRI では約 8x6.5cm の充実部を含む卵巣腫瘍を認めため、卵巣癌疑いにて試験開腹術が施行された。

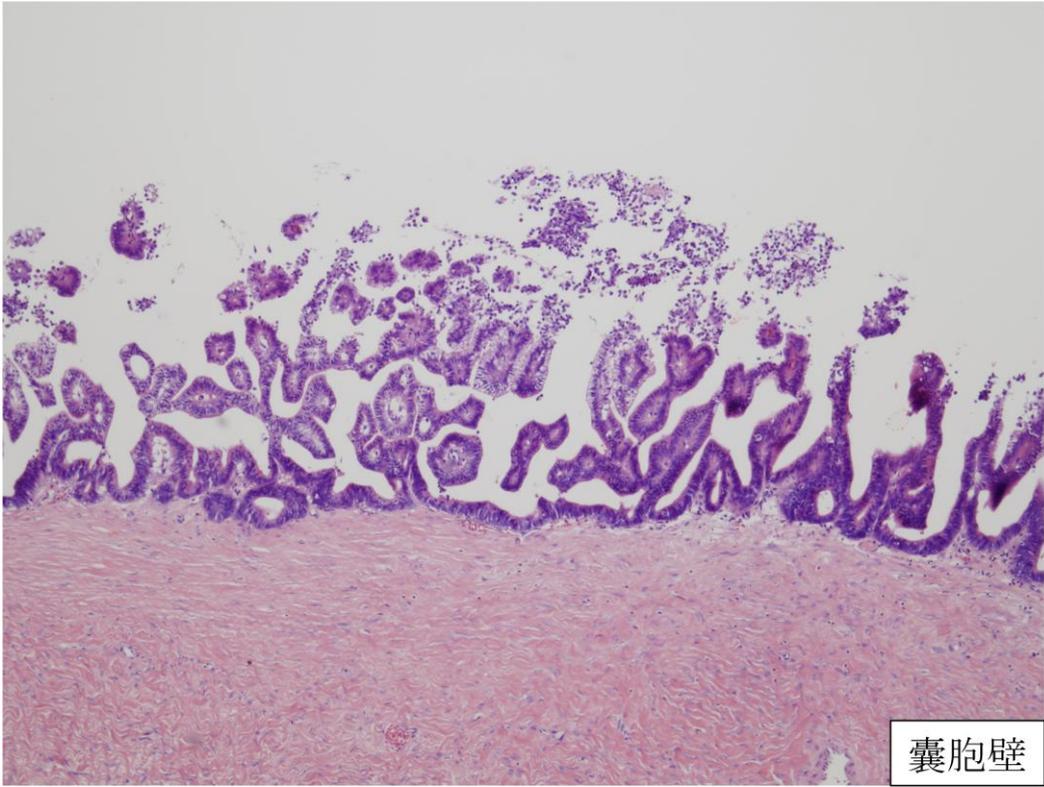
【病理所見】

肉眼的には、径約 6cm の嚢胞性病変を認め、嚢胞内に 30x25mm の結節を認めた。

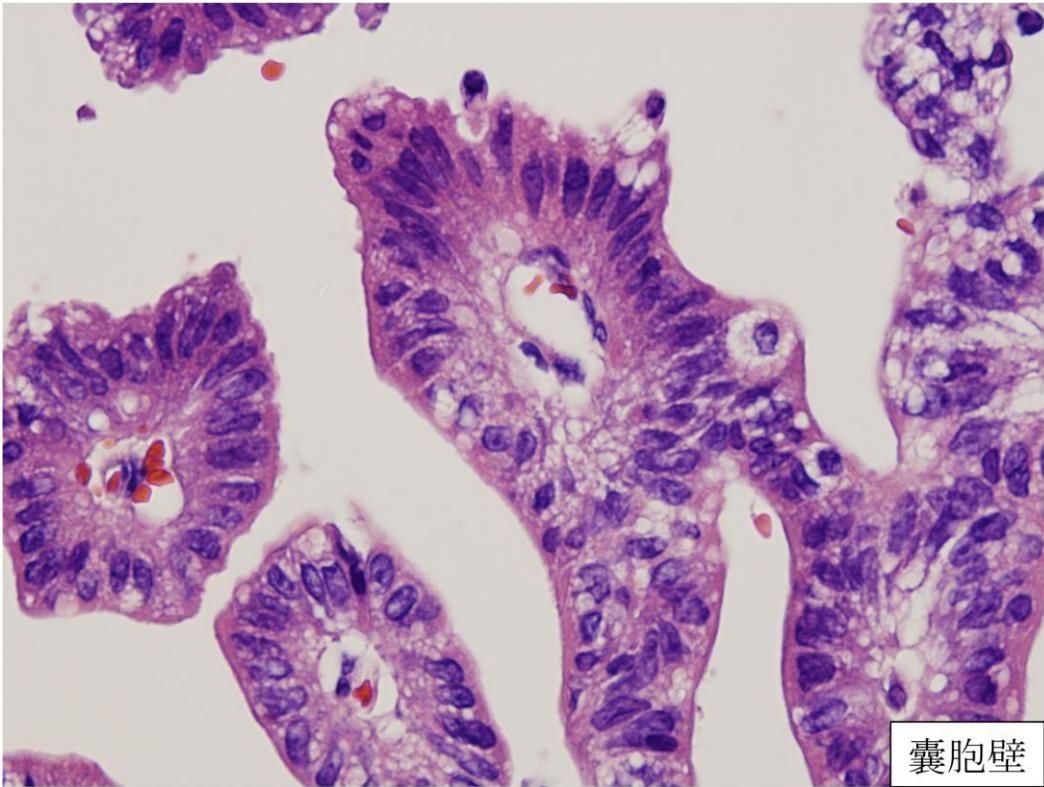
組織学的には、嚢胞内面を覆うように、胞体内に粘液をもつ異型細胞が乳頭状に増生しており、部分的に細胞異型が強い部分を認めた。間質浸潤は明らかではなかった。結節部では、核小体明瞭で核縁が不整な異型細胞が充実性に増生しており、一部に上皮性の結合を認めた。核分裂像を多数認めた。結節部では、AB-PAS 陽性の粘液を含む細胞をごく少数認めたが、腺管形成は明らかではなかった。免疫組織学的には、結節部の異型細胞は、cytokeratin AE1/3(一部+)、EMA(一部+)、S-100(一部+)、 α -SMA(-)、desmin(-)、myogenin(-)であり、p53 および MIB-1 はびまん性に陽性を示していた。

【問題点】 病理組織学的診断

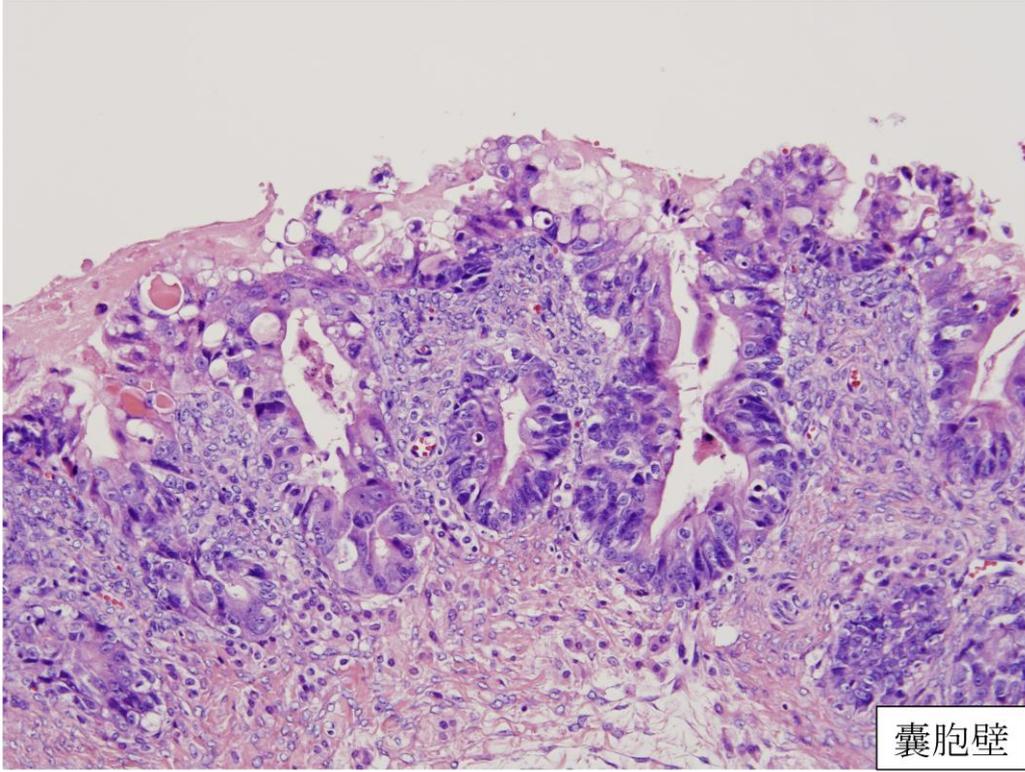




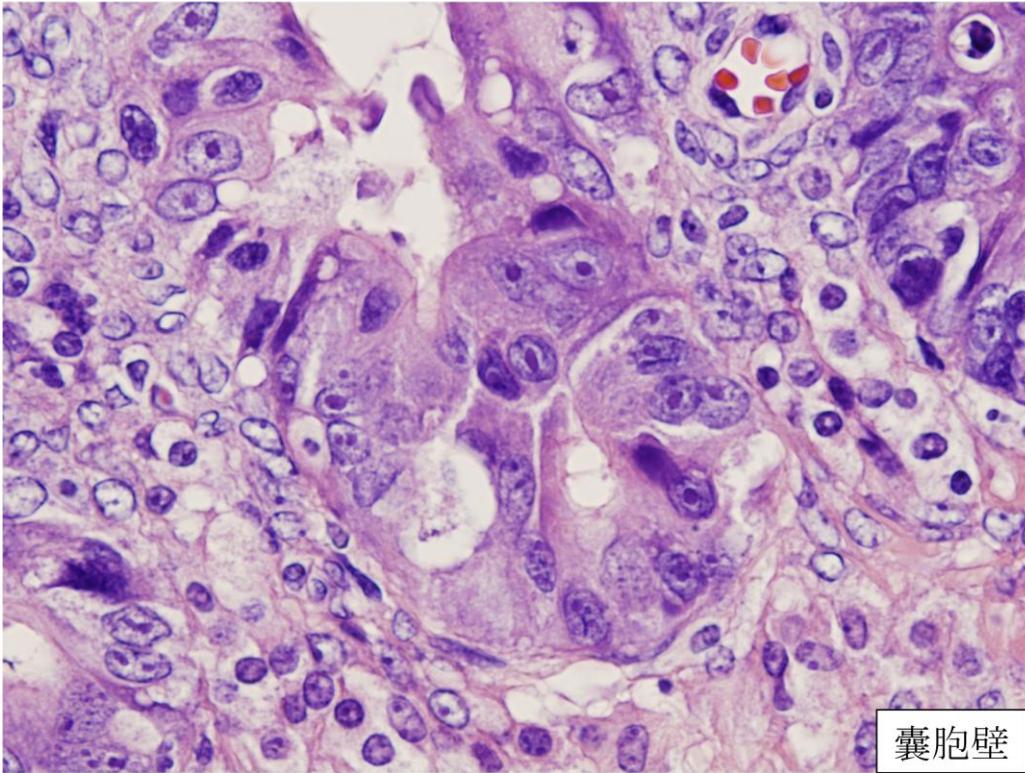
囊胞壁



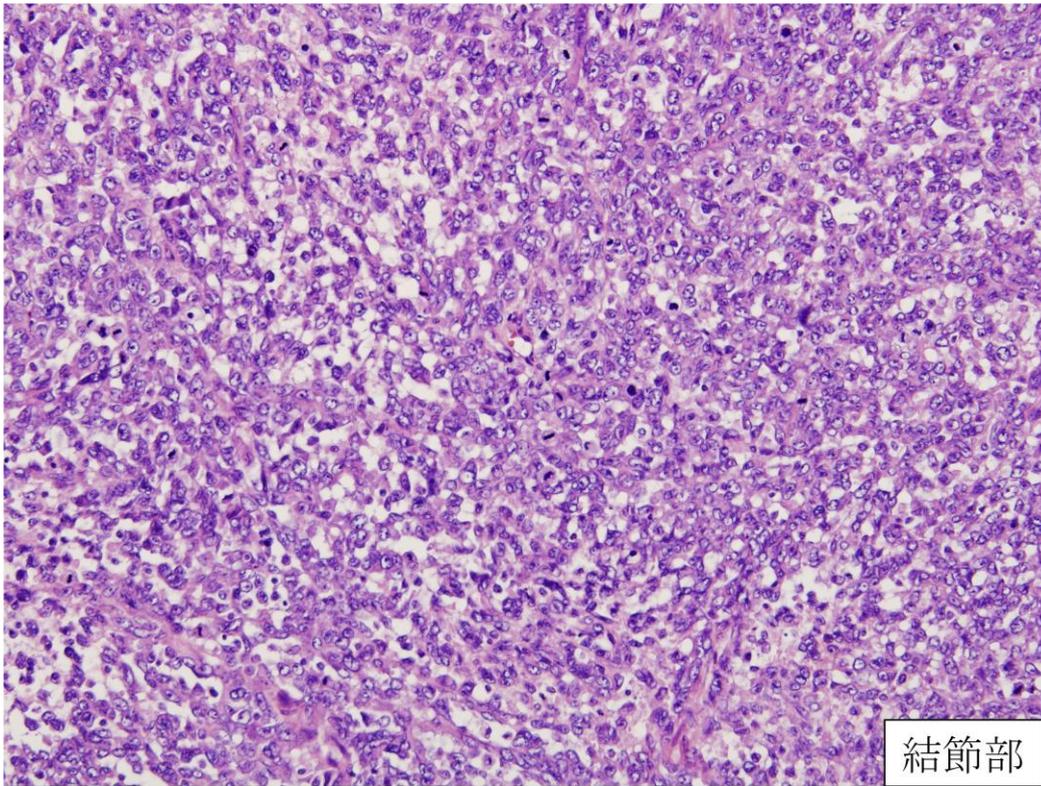
囊胞壁



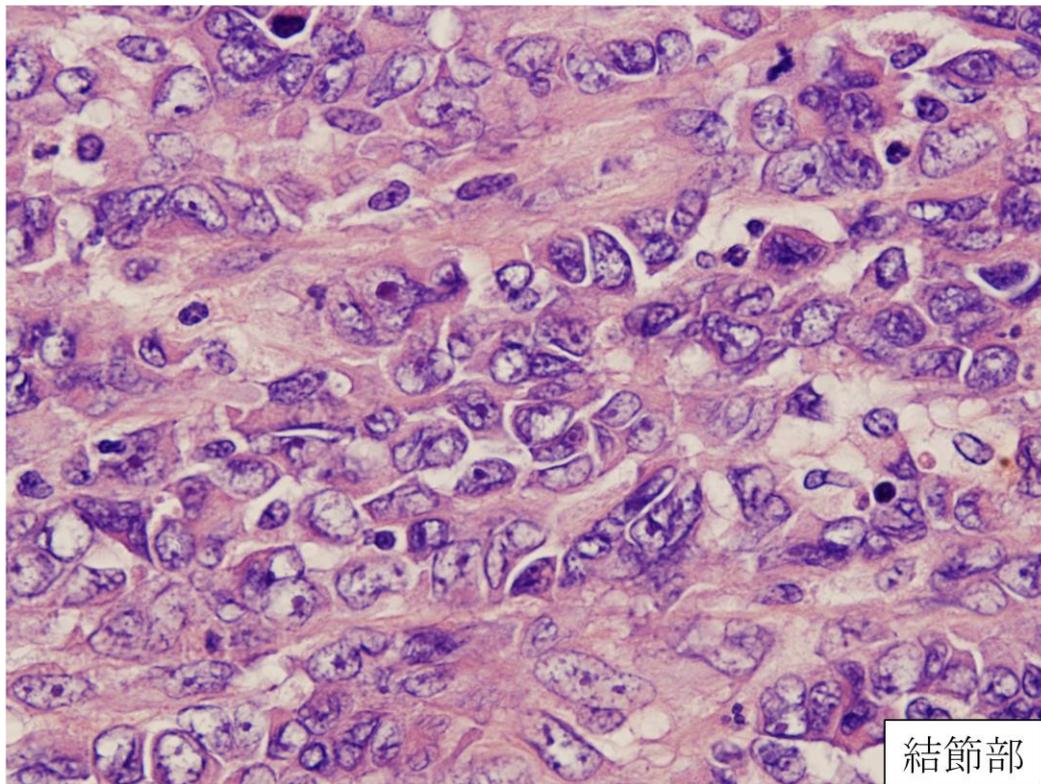
囊胞壁



囊胞壁



結節部



結節部